

2026 年度量子ビームサイエンスフェスタ (第 18 回 MLF シンポジウム / 第 44 回 PF シンポジウム) 開催のお知らせ

量子ビームサイエンスフェスタ実行委員会
委員長 佐藤友子 (KEK/ 物質構造科学研究所)
副委員長 大原高志 (JAEA/ J-PARC センター)

2026 年度量子ビームサイエンスフェスタ (第 18 回 MLF シンポジウム / 第 44 回 PF シンポジウム) を 2027 年 3 月 2 日 (火) ~ 4 日 (木) につくば国際会議場 (エポカルつくば) にて現地開催の予定です。

このシンポジウムは、施設側スタッフ、ユーザーの皆様が一堂に会することのできる機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

詳細が決まり次第ホームページや PF ニュース等で皆様にお知らせ致します。

Photon Factory Activity Report 2026 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR 2026 編集委員長 山田悟史 (KEK 物構研)

PF では、施設の活動報告の一環として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を公開しています。これは当該年度に実施された実験課題の結果報告集 (ユーザーレポート) であり、広く国内外に PF と SPF (低速陽電子実験施設) の研究活動を伝えるものです。

2025 年度版である PFACR の原稿は 6 月末に締め切り、皆様のご協力により多数の原稿が集まりました。ご協力厚く御礼申し上げます。これから編集作業を行い、2026 年秋に公開される予定です。

現在は、2026 年度版である PFACR の原稿を受け付けております。つきましては、皆様方が 2026 年度に PF、SPF で行った成果をお送り下さるようお願い申し上げます **<提出締切: 2027 年 6 月 30 日 (水)>**。2026 年度の 1 年間に実施した実験について寄稿して頂くのが基本ですが、データ解析に時間を要することなどが考えられますので、2025 年度以前に実施した実験の報告も歓迎します。PFACR は、研究活動に関する評価を PF、SPF が受ける際の重要な物差しの一つであり、皆様の寄稿はユーザー支援や研究環境の改善に繋がります。積極的にご執筆頂ければ幸いです。なお、このユーザーレポートは、2014 年度より共同利用実験課題の終了届を兼ねることになりましたので、課題責任者は一課題につき一報以上をご提出いただくようお願いいたします。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は PFACR2026 の ホームページ (英語ページ: <https://www2.kek.jp/imss/pf/eng/science/publ/acr/2026/acr-submission-en.html> 日本語ページ: https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2026/acr_submission_jp.html) に掲載しておりますのでご覧下さい。執筆は英語もしくは日本語をお願いします。

KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員
武市泰男, 丹羽尉博, 砂口尚輝

KEK つくばキャンパスの一般公開が 9 月 5 日 (土) に開催されます。「加速器だから見える世界。」をテーマに、つくばキャンパスの多くの施設が公開されます。フォトンファクトリー (PF) でも、実験ホールを中心に複数の展示・体験型企画を予定しており、PF で行われている実験を分かりやすく紹介する予定です。また、実験ホールだけでなく蓄積リングなど、PF での実験経験がある人にとっても、通常は立ち入りできない場所を見学することができます。さらに、MB-LINQ 計画、低速陽電子、東海キャンパスでの中性子やミュオンを使った研究を紹介する物構研の展示も準備します。

つくばキャンパス全体では、SuperKEKB、Belle II 検出器など、普段は見る事ができない施設や装置などを間近で見ながら、研究者が分かりやすく説明してくれる企画が多数計画されています。

KEK 一般公開の特設ページ (<https://www2.kek.jp/openhouse/2026/>) も開設されました。ご確認いただき、是非ともご参加ください。(参加には事前登録が必要です)。

防災・防火訓練のお知らせ

放射光実験施設 防火・防災担当
松岡亜衣, 野澤俊介, 内山隆司

高エネルギー加速器研究機構の本年度の防災・防火訓練が **2026 年 11 月 18 日 (水)** に実施されます (予備日は 11 月 30 日)。

訓練では、緊急地震速報が発令された場合の対処や、地震発生後の機構指定避難場所への避難・安否確認等を行います。本年度の訓練日は PF、PF-AR とともにボーナス運転の予定です。予備日に延期となった場合は PF、PF-AR とともにユーザー運転を予定しています。訓練では避難の際、

MBS を閉じさせていただきますので、約 1 時間実験ができなくなります。また実験準備などで来所している方々にも、作業を中断し訓練への参加をお願いしております。

PF では多くのユーザーが閉じられた空間で実験を行っており、放射線や化学薬品、高圧ガスなども扱っていますので、非常時には迅速な対応が取れるよう、訓練が極めて重要と考えております。一人でも多くの方に参加していただけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、機構指定避難場所は PF ニュース裏表紙に掲載されていますのでご確認ください。

2027 年度前期放射光共同利用実験課題公募について

放射光実験施設運営部門 君島堅一、宇佐美徳子

2027 年度前期共同利用実験課題（G 型、S2 型、T 型および RD 型）の公募は、10 月上旬から受付開始し、11 月中旬締切の予定です。詳しいことは PF「共同利用実験課題申請」ページ <https://www2.kek.jp/imss/pf/use/proposal/> をご覧下さい。なお、緊急重要課題（U 型）、初心者型（P 型）は随時受付となっています。

2027 年度前期 フォトンファクトリー研究会の募集

放射光実験施設長 五十嵐教之

物質構造科学研究所放射光実験施設（フォトンファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて 1～2 日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間 6 件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 2027 年 4 月～9 月
2. 応募締切日 2026 年 12 月 18 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期

- (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名

4. 応募書類送付先（データをメールに添付して送付）

放射光実験施設 PF 事務局

Email: pf-office-at-pfiqst.kek.jp

（-at- を @ にしてお送りください）

開催日程については、採択後、放射光実験施設長までご相談下さい。また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

第 5 回フォトンファクトリー同窓会 講演会開催のお知らせ

フォトンファクトリー同窓会会長 太田俊明

フォトンファクトリー同窓会では、第 5 回 PF 同窓会講演会をフォトンファクトリーと共催で 12 月 5 日（土）午後にオンサイト（KEK キャンパス内）とオンラインのハイブリット形式にて開催いたします。また、午前中は PF 見学会、講演会後には懇親会も予定しています。

同窓会会員以外の方も参加していただけますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。必要に応じて KEK 宿泊施設の利用も可能です。

主催：フォトンファクトリー同窓会

共催：フォトンファクトリー

開催日時：2026 年 12 月 5 日（土）午後

開催方式：オンサイト（KEK キャンパス内）とオンライン

講演プログラム、参加申込方法については、別途、お知らせいたします。

問い合わせ先：フォトンファクトリー同窓会事務局

Email: pfobog-at-ml.kek.jp

（-at- を @ にしてお送りください）

【訃報】物質構造科学研究所初代所長 木村嘉孝先生がご逝去されました

物質構造科学研究所長 船守 展正

物質構造科学研究所初代所長であり、KEK 名誉教授の木村嘉孝（きむら・よしたか）先生（享年 88）におかれましては、令和 6 年 7 月 17 日にご逝去されました。ここに謹んでお知らせいたします。

木村先生は、1997 年 4 月の高エネルギー加速器研究機構の発足と同時に誕生した物質構造科学研究所（物構研）に初代所長として就任されました。初代所長として組織整備などの物構研の基礎を構築する一方、PF リングの高輝度化、PF-AR の高度化、2001 年から建設が始まった J-PARC の建設計画など、2003 年 3 月に任期満了で退任されるまで多くのプロジェクトを推進されました。特に、就任早々からご尽力されていた構造生物学の推進に関しては、構造生物学研究グループの発足や構造生物学実験棟の建設など目覚ましいスピードで進み、2003 年 5 月の構造生物学研究センター（SBRC）の設立につながりました。

平成 28 年度秋の叙勲においては、長年にわたる我が国の教育研究への貢献が評価され、瑞宝中綬章を受章されています。

なお、葬儀は近親者で執り行われたとのことです。

木村先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

予 定 一 覧

2026 年

- | | |
|----------------|---|
| 9 月 3 ～ 5 日 | 第 29 回 XAFS 討論会（名古屋大学 野依記念学術交流館） |
| 9 月 5 日 | KEK 一般公開 |
| 9 月 25 日～ 27 日 | 第 11 回文理融合シンポジウム 量子ビームで歴史を探る－加速器が紡ぐ分離融合の地平－ |
| 10 月 9 日 | PF, SPF 2026 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 10 月 22 日 | 第 4 回 PF-UA サマースクール「加速器から物質・生命科学まで」（オンライン） |
| 10 月 30 日 | PF-AR 2026 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 11 月 14 日 | 第 11 回タンパク質結晶構造解析中級者講習会（上智大学四谷キャンパス／ Zoom） |
| 11 月 18 日 | 防災・防火訓練（つくばキャンパス） |
| 12 月 5 日 | 第 5 回フォトンファクトリー同窓会講演会
（オンサイト（つくばキャンパス）とオンラインのハイブリッド形式） |
| 12 月 18 日 | 2027 年度前期フォトンファクトリー研究会公募締め切り |
| 12 月 24 日 | PF, SPF, PF-AR 2026 年度第二期ユーザー運転終了 |

2027 年

- | | |
|---------------|---|
| 1 月 8 日 | 第 2 回 ISSP-IMSS 研究会（東海とオンラインのハイブリッド形式） |
| 1 月 12 ～ 14 日 | 第 40 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（SAGA アリーナ） |
| 3 月 2 ～ 4 日 | 2026 年度量子ビームサイエンスフェスタ（第 18 回 MLF シンポジウム／第 44 回 PF シンポジウム）
（つくば国際会議場エポカル） |

※最新情報は <https://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> をご覧下さい。

運転スケジュール(Oct.~Dec. 2026)

E : ユーザー実験
M : マシンスタディ
MA : メンテナンス
I : 産業利用促進

B : ボーナスタイム
T : 立ち上げ
HB : ハイブリッド運転

10月	PF	PF-AR	SPF	11月	PF	PF-AR	SPF	12月	PF	PF-AR	SPF	
1(木)	STOP		T/M	1(日)	E	E (5GeV)	E	1(火)	HB	E (6.5GeV)	E	
2(金)				2(水)				B(HB)	B			
3(土)				T/M				M	3(木)	E (6.5GeV)		E
4(日)									4(金)			
5(月)	5(土)		E (5GeV)									
6(火)	6(日)				HB							
7(水)	7(月)			B(HB)	B							
8(木)	8(火)				M							
9(金)	9(水)		E (6.5GeV)									
10(土)	10(木)					E						
11(日)	11(金)			HB			E (6.5GeV)					
12(月)	12(土)				M							
13(火)	13(日)		B(HB)					B				
14(水)	14(月)					E (5GeV)						
15(木)	15(火)			E								
16(金)	16(水)				E (5GeV)							
17(土)	17(木)		E									
18(日)	18(金)					E (5GeV)						
19(月)	19(土)			E (5GeV)								
20(火)	20(日)				E (5GeV)							
21(水)	21(月)		E (5GeV)									
22(木)	22(火)	E (5GeV)										
23(金)	23(水)			E (5GeV)								
24(土)	24(木)				E (5GeV)							
25(日)	25(金)		E (5GeV)									
26(月)	26(土)	E (5GeV)										
27(火)	27(日)			E (5GeV)								
28(水)	28(月)				E (5GeV)							
29(木)	29(火)		E (5GeV)									
30(金)	30(水)	E (5GeV)										
31(土)	31(木)			E (5GeV)								

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<https://www2.kek.jp/imss/pf/>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<https://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/schedule/>)をご覧ください。

第 40 回日本放射光学会年会・

放射光科学合同シンポジウム（JSR2027）開催要項

最新情報は JSR2027 ウェブサイトを参照してください。

（<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jssrr2027>）

1. 開催日 2027 年 1 月 12 日（火）、13 日（水）、14 日（木）
2. 場所 SAGA アリーナ（佐賀県佐賀市日の出 2 丁目 1－10）
（懇親会会場：ホテルマリターレ創世 佐賀（佐賀県佐賀市神野東 2 丁目 5－15））
3. プログラム要項
 - ・ 12 日午前に企画講演，午後に総会，各賞の受賞講演を行う予定です。
 - ・ 13 日と 14 日に企画講演，口頭発表，ポスター発表，施設報告，企業展示を行う予定です。
 - ・ 13 日の夜に懇親会を行う予定です。
 - ・ プログラムおよび予稿集は JSR2027 ウェブサイトで公開する予定です。
 - ・ 講演，発表，企業展示の詳細は追ってお知らせします。
 - ・ 会期中は託児室が利用できます（無料，要事前申込）。詳細は JSR2027 ウェブサイトをご確認ください。

4. 参加費

区分		早期登録 (11 月 30 日までに支払)	参加登録 (12 月 1 日以降に支払)
一般	日本放射光学会会員	6,000 円	7,000 円
	共催団体（特別賛助団体）会員・職員	7,000 円	8,000 円
	共催団体（上記以外）会員・職員	8,000 円	9,000 円
	非会員	12,000 円	13,000 円
学生	日本放射光学会会員	3,000 円	4,000 円
	共催団体会員	3,000 円	4,000 円
	非会員	4,000 円	5,000 円
懇親会	一般	7,000 円	8,000 円
	学生	3,000 円	4,000 円

- ・ 参加登録は JSR2027 ウェブサイトで受け付けます（受付期間：2026 年 8 月 17 日（月）～2027 年 1 月 14 日（木））。
- ・ 発表を予定している方は，発表申込み時に参加登録をしてください。
- ・ オンライン配信の聴講のみでの参加の場合も，同じくウェブサイトから参加登録を行ってください。
- ・ 参加登録の際，参加費の支払いを済ませることをお勧めします。
- ・ 懇親会費は参加費の支払いとは別に行えますが，なるべく同時にしていただけるようお願いします。
- ・ 11 月 30 日までに事前の支払い手続きを行わない場合は，通常の参加費での支払いをお願いします。

早期登録にご協力をお願いします。

- 支払いはクレジットカード払い、銀行振込が可能です。事務処理の簡素化のため、原則としてクレジットカードでのお支払いにご協力をお願いいたします。なお、12月1日以降はクレジットカード払いのみとさせていただきます。
- 参加をキャンセルされた場合の返金はいたしません。

5. 発表者資格

日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの口頭発表・ポスター発表の発表者（口頭発表の場合は登壇者、ポスター発表の場合は説明者）は、①日本放射光学会会員、または、②共催団体（特別賛助団体）・共催団体（それ以外）の会員・職員に限りです。

- 共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。
- 発表申込み時点で上記の資格を有しない方は、発表当日までに資格を取得する必要があります。特に、日本放射光学会への入会申込み手続きを至急行ってください。
- 共催団体（特別賛助団体）・共催団体（それ以外）の会員または職員で日本放射光学会会員となっていない方は、放射光科学の発展に学会が果たしている役割をご理解いただき、日本放射光学会に入会していただくことを強く希望します。
- 放射光学会では放射光科学の更なる発展に向けて新たな戦略的会員制度（発表者資格）を検討しています。最新情報はJSR2027 ウェブサイトをご確認下さい。

6. 発表申込みについて

- 受付開始：2026年8月17日（月）
- 申込締切：2026年9月30日（水）
- 申込方法：JSR2027 ウェブサイトを通して、参加登録、発表申込、予稿原稿提出を行ってください。詳細はウェブサイトにてお知らせします。
- ネットワークトラブル回避のため、締切日直前の申込みは避けてください。
- 発表形式には口頭とポスターがあります。希望される発表形式を選択してください。
- 講演番号：2026年11月に電子メールで発表申込者に通知します。

7. 予稿原稿について

- PDFファイルで作成の上、発表申込の際に投稿してください。
- 予稿原稿の形式は、A4縦置きで、発表1件につき1ページです。
- JSR2027 ウェブサイトからテンプレートをダウンロードして、原稿を作成してください。
- 文字化けを避けるために必ずフォントを埋め込んでPDFファイルを作成してください。

8. プログラムの掲載

- 2026年11月にJSR2027 ウェブサイト上に掲載します。
- 日本放射光学会誌「放射光」第39巻6号（2026年11月末発行）にプログラム（一部）を掲載します。

9. 企画講演の公募

企画講演を公募します。形式や応募先・締切等は以下を参照ください。

- 応募資格：日本放射光学会会員
- 時間配分：趣旨説明を含めて全体で約150分の企画講演を2~3件公募します。
- 企画提案者には、講演の最初に趣旨説明と会期終了後の報告書の提出をお願いします。

- 応募先：第 40 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム事務局（jsr2027@jssrr.jp）宛に電子メールで、①企画講演タイトル、②提案理由（200 字程度）、③講演者および時間配分を明記し、応募してください。
- 応募締切：2026 年 8 月 31 日（月）

10. 会場へのアクセスのご案内

○年会会場（SAGA アリーナ）へのアクセス

JR 九州 長崎本線 佐賀駅徒歩 15 分

* 佐賀駅から会場までバスを利用する場合

佐賀駅バスセンター2 番乗り場

佐賀市営バス [30] SAGA サンライズパーク・自動車試験場行き

昭和バス [73] 古湯温泉行き、[74] 中極・小城行き、[75] イオンモール佐賀大和・

昭和バス佐賀営業所行き

SAGA サンライズパーク（市文化会館前）下車



○懇親会会場（ホテルマリタール創世 佐賀）へのアクセス

JR 佐賀駅北口から徒歩 7 分、SAGA アリーナより徒歩 15 分



11. 主催 第40回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム組織委員会

共催 日本放射光学会（主幹），国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構，高輝度光科学研究センター，一般財団法人光科学イノベーションセンター，東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター，東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設，大阪大学蛋白質研究所，公益財団法人科学技術交流財団あいちシンクロトン光センター，九州大学シンクロトン光利用研究センター，高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光実験施設，佐賀県立九州シンクロトン光研究センター，佐賀大学シンクロトン光応用研究センター，自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設，特定放射光施設ユーザー協団体，名古屋大学シンクロトン光研究センター，日本原子力研究開発機構物質科学研究センター，日本大学電子線利用研究施設，広島大学放射光科学研究所，兵庫県立大学高度産業科学技術研究所，PF ユーザーアソシエーション（PF-UA），VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会，UVSOR 利用者懇談会，理化学研究所放射光科学研究センター，立命館大学 S R センター

12. 組織委員会（共催団体からの推薦者と役職指定のメンバーで構成されています）

朝倉清高（立命館大 SR），東純平（佐賀大 SR），蛇川匡司（東北大 SRIS），石地耕太郎 [年会会計担当（SAGA-LS）]，今園孝志（QST），岡島敏浩（あいち SR），河本正秀 [プログラム委員長（SAGA-LS）]，北村未歩 [放射光学会会計幹事（QST）]，木村真一（VUV・SX），栗栖源嗣（阪大蛋白研），解良聡（分子研 UVSOR），島田賢也（HiSOR），清水伸隆（理研），杉山武晴 [実行副委員長（九大）]，鈴木哲（兵庫県立大高度研），高嶋圭史（名大 SR），高橋和敏 [実行副委員長（佐賀大）]，富永亜希（JAEA），永村直佳（SpRUC），長谷川和也（JASRI），早川恭史（LEBRA），原田慈久（東大物性研），彦坂泰正（UVSOR），廣沢一郎 [実行委員長（SAGA-LS）]，藤井健太郎（PF-UA），松垣直宏（KEK），山根宏之（PhoSIC），山本達 [放射光学会行事幹事・組織委員長（東北大 SRIS）]，山本雅貴 [放射光学会会長（理研）]

13. プログラム委員会

池本夕佳（JASRI），石井祐太（NIMS），石地耕太郎 [年会会計担当（SAGA-LS）]，井上伊知郎（東大），上島考太（QST），上杉健太郎（JASRI），奥田太一（広大），小澤健一（KEK），小田切丈（上智大），小野寺陽平（NIMS），片山哲夫（JASRI），片山真祥（JASRI），河本正秀 [プログラム委員長（SAGA-LS）]，木村真一（阪大），坂井直樹（JASRI），佐賀山基（名古屋大），佐藤真直（JASRI），杉山武晴 [実行副委員長（九大）]，鈴木基寛（関学大），関口博史（JASRI），瀬戸山寛之（SAGA-LS），仙波泰徳（JASRI），高橋和敏 [実行副委員長（佐賀大）]，武市泰男（KEK），田中清尚（分子研），為則雄祐（KEK），中山耕輔（東北大），丹羽尉博（KEK），羽多野忠（東北大），原野貴幸（トヨタ自動車），廣沢一郎 [実行委員長]

(SAGA-LS)], 藤井健太郎 (QST), 藤本將輝 (名古屋大), 堀川裕加 (山口大), 堀場弘司 (QST), 松井文彦 (分子研), 水牧仁一朗 (熊大), 山根宏之 (PhoSIC), 山本達 [日本放射光学会行事幹事・組織委員長 (東北大 SRIS)], 湯川龍 (東北大), 若林大佑 (KEK)

14. 実行委員会

石地耕太郎 (SAGA-LS), 出田光太郎 (佐賀大), 江頭正邦 (SAGA-LS), 植竹裕太 (九大), 河本正秀 [プログラム委員長 (SAGA-LS)], 児島敬子 (九大), 小林英一 (SAGA-LS), 齊藤勝彦 (佐賀大), 杉山武晴 [実行副委員長 (九大)], 瀬戸山寛之 (SAGA-LS), 高尾芳行 (SAGA-LS), 高橋和敏 [実行副委員長 (佐賀大)], 竹田晴信 (SAGA-LS), 竹原伸子 (SAGA-LS), 田中慎一 (SAGA-LS), 土肥憲治 (SAGA-LS), 広田雄二 (SAGA-LS), 廣沢一郎 [実行委員長 (SAGA-LS)], 馬込栄輔 (SAGA-LS), 山津善直 (SAGA-LS), 山口浩司 (SAGA-LS), 山田涼子 (SAGA-LS), 山本勇 (佐賀大), 山本達 [放射光学会行事幹事・組織委員長 (東北大学)], 吉村大介 (SAGA-LS), 米山明男 (SAGA-LS)

15. 会期中の会合等の開催について

各施設の利用者団体の活動・成果報告・将来構想の検討のために、会合の開催を希望される団体は、事務局にご相談ください。なお、共催団体として登録されている利用者懇談会の開催日程につきましてはすでに決定しております。その他の施設利用者団体で会合の開催を希望される場合は、11月27日(金)までに、以下の情報をメールにて JSR2027 事務局 (E-mail: jsr2027@jssrr.jp) にお知らせください。なお、会議室に限りがあるため、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

メール件名: JSR2027 会合申込み (会合名)

メール記載事項 (本文ベタ打ちでも添付ファイルでも構いません):

会合名, 希望日, 希望時刻, 参加人数, 代表者連絡先 (所属, 氏名, E-mail), 備考・要望 (あれば)

《問い合わせ先》第40回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4号 大阪駅前第4ビル9階 923-1121 号

オフィス・ブランシュ株式会社内

TEL: 080-4568-4221 E-mail: jsr2027@jssrr.jp